

平成30年度決算の概要

< 1. 収入 >

- (1) 学生生徒等納付金収入 3,582百万円

- (2) 補助金収入 11,049百万円
(主なもの)
 - ① 私立大学等経常費補助金 2,704百万円
 - ② 整備拡充事業費交付金 699百万円

- (3) 医療収入 67,364百万円
 - ① 附属病院 41,850百万円
 - ② 附属さいたま医療センター 25,514百万円

< 2. 支出 >

- (1) 人件費支出 34,757百万円

- (2) 医療経費支出 37,269百万円
 - ① 附属病院 23,161百万円
 - ② 附属さいたま医療センター 14,108百万円

- (3) 施設・設備関係支出 10,457百万円
(主なもの)
 - ① 新実験医学センター建設工事 2,203百万円
 - ② 新館南棟建設工事 1,032百万円、新館南棟関連機器 2,273百万円
心臓血管装置不整脈関連周辺機器一式 283百万円
 - ③ ハイブリッド(脳血管撮影装置)手術室整備 716百万円

(注) ②は附属病院、③はさいたま医療センターに係る支出である。

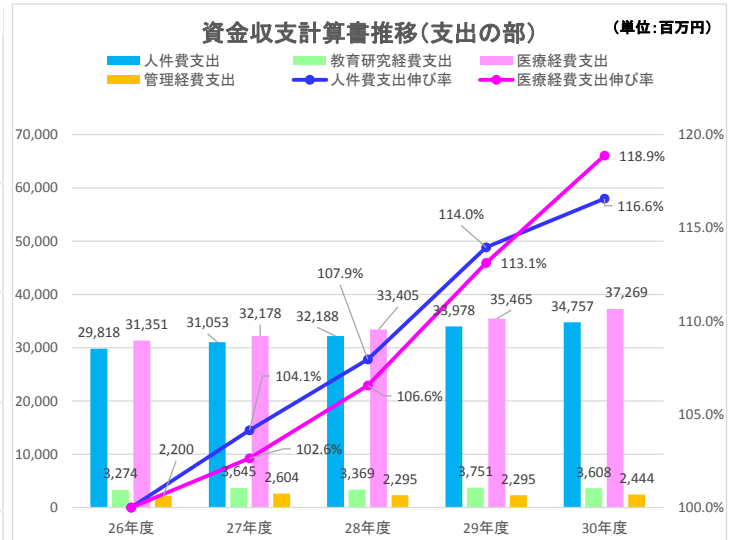
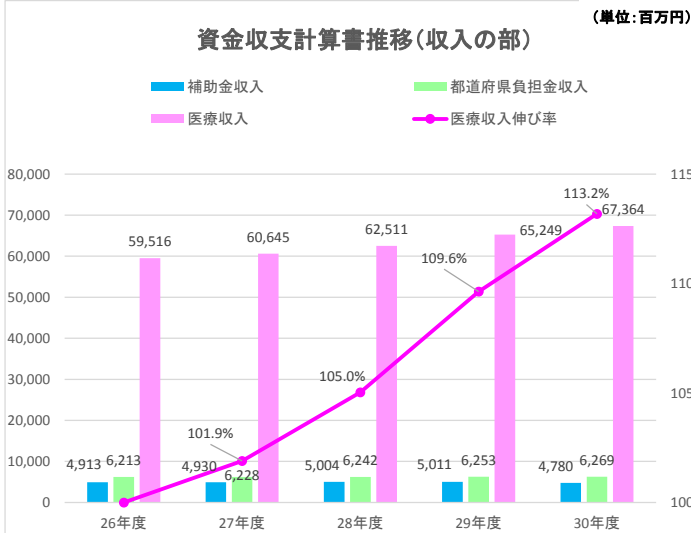
資金収支計算書

(単位 百万円)

収入の部				支出の部			
科目	H 30決算	H 29決算	差異	科目	H 30決算	H 29決算	差異
学生生徒等納付金収入	(3,582)	(3,608)	(Δ26)	人件費支出	(34,757)	(33,978)	(779)
手数料収入	(64)	(123)	(Δ59)	教育研究経費支出	(3,608)	(3,751)	(Δ143)
寄附金収入	(599)	(564)	(35)	医療経費支出	(37,269)	(35,465)	(1,804)
補助金収入	(11,049)	(11,264)	(Δ215)	管理経費支出	(2,444)	(2,295)	(149)
国庫補助金収入	2,863	2,933	Δ70	借入金等利息支出	(6)	(8)	(Δ2)
地方公共団体補助金収入	1,916	2,077	Δ161	借入金等返済支出	(150)	(150)	(0)
地方公共団体負担金収入	6,269	6,253	16	施設関係支出	(4,095)	(8,602)	(Δ4,507)
その他補助金収入	1	1	0	設備関係支出	(6,362)	(4,679)	(1,683)
資産売却収入	(4,855)	(8,117)	(Δ3,262)	資産運用支出	(8,212)	(10,636)	(Δ2,424)
付随事業・収益事業収入	(1,769)	(1,953)	(Δ184)	その他の支出	(13,586)	(13,084)	(502)
医療収入	(67,364)	(65,249)	(2,115)				
受取利息・配当金収入	(123)	(140)	(Δ17)	資金支出調整勘定	(Δ8,770)	(Δ9,585)	(815)
雑収入	(1,047)	(896)	(151)	翌年度繰越支払資金	(5,977)	(5,729)	(248)
前受金収入	(90)	(94)	(Δ4)				
その他の収入	(24,014)	(23,890)	(124)				
資金収入調整勘定	(Δ12,589)	(Δ12,889)	(300)				
前年度繰越支払資金	(5,729)	(5,783)	(Δ54)				
収入の部合計	107,696	108,792	Δ1,096	支出の部合計	107,696	108,792	Δ1,096

法人全体の教育研究活動等に伴う全ての収入と支出を明らかにする資金収支計算書における決算額は、108,792百万円となった。

◆資金収支計算書のここ5年間の推移



※上表はここ5年間の資金収支計算書における収入・支出の主要科目の推移を表している。折れ線グラフは平成26年度を起点とした医療収入及び人件費並びに医療経費支出の伸び率を表している。

事業活動収支計算書

(単位:百万円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	H 30決算	H 29決算	差異	教育活動収入の部	科目	H 30決算	H 29決算	差異
		学生生徒等納付金	(3,582)	(3,608)	(Δ26)		受取利息・配当金	(123)	(140)	(Δ17)
手数料	(64)	(123)	(Δ59)	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)			
寄附金	(610)	(592)	(18)	教育活動外収入計	(123)	(140)	(Δ17)			
経常費等補助金	(10,290)	(10,235)	(55)	事業活動支出の部	科目	H 30決算	H 29決算	差異		
国庫補助金	2,833	2,854	Δ21	借入金等利息	(6)	(8)	(Δ2)			
地方公共団体補助金	1,187	1,126	61	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)			
地方公共団体負担金	6,269	6,253	16	教育活動外支出計	6	8	Δ2			
その他の補助金	1	2	Δ1	教育活動外収支差額	117	132	Δ15			
付随事業収入	(1,769)	(1,953)	(Δ184)	経常収支差額	Δ6,128	Δ4,480	Δ1,648			
医療収入	(67,364)	(65,249)	(2,115)	事業活動収入の部	科目	H 30決算	H 29決算	差異		
雑収入	(1,047)	(896)	(151)	資産売却差額	(0)	(0)	(0)			
教育活動収入計	84,726	82,656	2,070	その他の特別収入	(829)	(1,107)	(Δ278)			
特別収入計				特別収入計	829	1,107	Δ278			
事業活動支出の部	科目	H 30決算	H 29決算	差異	事業活動支出の部	科目	H 30決算	H 29決算	差異	
人件費	(35,044)	(33,473)	(1,571)	資産処分差額	(112)	(602)	(Δ490)			
教育研究経費	(5,810)	(5,809)	(1)	その他の特別支出	(0)	(0)	(0)			
医療経費	(43,923)	(41,894)	(2,029)	特別支出計	112	602	Δ490			
管理経費	(3,294)	(3,164)	(130)	特別収支差額	717	505	212			
徴収不能額等	(2,900)	(2,928)	(Δ28)	[予備費]			0			
教育活動支出計	90,971	87,268	(3,703)	基本金組入前当年度収支差額 ※	A Δ5,411	Δ3,975	Δ1,436			
教育活動収支差額	Δ6,245	Δ4,612	(Δ1,633)							

事業活動収入計	85,678	83,903	1,775	基本金組入額合計	B Δ8,941	Δ8,482	Δ459
事業活動支出計	91,089	87,878	3,211	当年度収支差額 (C=A+B)	C Δ14,352	Δ12,457	Δ1,895
基本金組入前当年度収支差額 (※再掲: いわゆる損益収支)	Δ5,411	Δ3,975	Δ1,436	前年度繰越収支差額	D Δ72,904	Δ60,447	Δ12,457
				基本金取崩額	E 0	0	0
				翌年度繰越収支差額 (F=D+C+E)	F Δ87,256	Δ72,904	Δ14,352

貸借対照表より

基本金合計	G 242,692	233,751	8,941
純資産額 (H=G+F)	H 155,436	160,847	Δ5,411

単年度における法人の財政状況を示す事業活動収支計算書では、事業活動収入計が85,678百万円、事業活動支出計が91,089百万円となり、その差額である「基本金組入前当年度収支差額」(いわゆる損益収支)は5,411百万円の赤字となったが、平成30年度末の大学の財政状況を表した「純資産額」(基本金+翌年度繰越収支差額)は155,436百万円となっており、大学の運営に支障をきたすものではない。しかしながら、収支改善は喫緊の課題であり、施設設備投資や医療経費の適正化を図るとともに、医療収入の着実な増額に努め、経営改善に取り組んでいく。

◆基本金組入前当年度収支差額(いわゆる損益収支)と純資産額の推移

(単位:百万円)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
基本金組入前当年度収支差額 (いわゆる損益収支)	2,509	2,538	4,164	1,695	2,867	2,488	Δ43	Δ2,443	Δ3,537	Δ3,975	Δ5,411
純資産額	157,093	159,631	163,795	165,490	168,357	170,845	170,802	168,359	164,822	160,847	155,436